



環境新聞

2011年 秋号



JX日鉱日石石油基地(株) 喜入基地環境安全グループ
【2011年10月発行 通算第5号】

鹿児島市「環境管理事業所」を更新しました

＜対象事業所＞

1. JX日鉱日石石油基地株式会社
2. JX日鉱日石マリンサービス株式会社

＜有効期間＞

2011年7月14日 から 2014年7月19日 まで

【環境管理事業所認定制度とは】

鹿児島市が定めた「環境管理指針」に沿って、適正に環境管理を実施している事業所を「環境管理事業所」として認定するものです。 ※鹿児島市ホームページにも紹介されています。



環境管理計画の進捗状況

「2011年9月末日現在」

- ・活動中の計画 22件
- ・2011年6月～9月完了 0件
- ・進捗状況
 - 80%以上 6件
 - 50%以上 5件

(新規登録を随時受付中)

喜入基地の温室効果ガス排出抑制計画について

■鹿児島県地球温暖化対策推進条例の第14条第1項の規程により提出しています。



- (1)計画期間：2011年度から2014年度まで(3カ年)
- (2)事業活動に伴う温室効果ガスの排出量および抑制目標
 - ・基準年度排出量：12,700 t-CO₂ (2009年度)
 - ・目標年度排出量：12,180 t-CO₂ (2014年度)(原単位ベース▲4%)

環境貢献活動結果

喜入基地の環境貢献活動は、主に次の事を実施しております。

項目	2010年度 (4-3月実績)	2011年度 (4-9月実績)
海岸清掃	2回	1回
見学者受入	190件	122件
懇話会開催	2回	1回
環境教育	5回	5回

※懇話会：外部有識者との意見交換会。



環境の勉強会 新エネルギーについて

◆新エネルギーとは

新エネルギーとは、日本における「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法(新エネルギー法)」において「新エネルギー利用等」として定義され、同法に基づき政令で指定されるもののことを指します。現在、政令により以下のものが新エネルギーとして指定されています。

☆バイオマス

生態学で、特定の時点においてある空間に存在する生物(bio-)の量を、物質の量(mass)として表現したものです。バイオマスを用いた燃料は、バイオ燃料(biofuel)またはエコ燃料(ecofuel)と呼ばれています。

☆太陽熱エネルギー

太陽光のエネルギーが熱に変換された状態、もしくは熱の形を経由する太陽エネルギーの利用形態の総称です。再生可能エネルギーの一種であり、蓄熱が比較的容易で、利用形態が多様なのが特徴です。

☆地熱発電

地熱(主に火山活動による)を用いて行う発電のことです。再生可能エネルギーの一種であり、ウランや石油等の枯渇性エネルギーの価格高騰や地球温暖化への対策手法となることから、エネルギー安全保障の観点からも各国で利用拡大が図られつつあります。

☆風力発電

風の力を利用した発電方式のことです。風力エネルギーは再生可能エネルギーのひとつとして、地球環境の保全、エネルギーセキュリティの確保可能なエネルギー源として認められ、多くの地に風力発電所や風力発電装置が建設されています。また、開発可能な量だけで人類全体の電力需要を十分に賄える資源量があるとされています。

☆太陽光発電

太陽電池を利用し、太陽光のエネルギーを直接的に電力に変換する発電方式です。ソーラー発電とも呼ばれています。再生可能エネルギーの一種であり、太陽エネルギー利用の一形態です。太陽光発電装置は一般に導入時の初期費用が高額となりますが、メーカー間の競争によって性能向上と低価格化や施工技術の普及も進み、運用と保守の経費は安価であるため、世界的に需要が拡大しています。昼間の電力需要ピークを緩和し、温室効果ガス排出量を削減できるなどの特長を有し、低炭素社会の成長産業として期待されています。

廃棄物関係

2010年度の廃棄物処理実績がまとまりました。

(単位:Kg)

	産業廃棄物			一般廃棄物		
	処理実績	最終処分量	比率(%)	処理実績	最終処分量	比率(%)
喜入基地	260,790	0	0%	7,083	685	9.67%
マリンサービス	29,966	0	0%	15,443	2,882	18.66%
食堂等	9,000	0	0%	15,443	2,882	18.66%
その他	20,966	0	0%	0	0	0%
協力会社	871,490	4,140	0.48%	2,135	194	9.09%
計	1,162,246	4,140	0.36%	24,661	3,761	15.25%
	処理実績	最終処分量	比率(%)			
基地+協力会社	1,141,498	5,019	0.44%			

中期環境経営計画の2010年度目標が、0.5%未満であり、「目標達成！」

ちょっと気になる記事見つけ!!

◆東日本大震災の影響で、この夏全国的な節電の実施を求められました。そこで、ちょっと気になる記事がありましたので、紹介いたします。

原則的に電気はためられないもの

車輪の回転によって発電させる自転車のライトは、回転が止まると消え、回転がはやくなれば明るさを増す。これは発電量と使用量が同じであることを示している。電気は、発電量と消費される量が常に同じになる性質をもっている。私たちが使用している電気も、基本は同じだ。原則的に電気はためることができないので、使用する量と同じだけの発電が必要となる。

現在、電気を供給する電力会社は、瞬時瞬時で使用される量を判断、需要とほぼ同じ量の発電を行っている。需要が増えれば、発電量を上げ、需要が減少すれば発電量を少なくする。これを同時同量と呼んでいる。身近なものにたとえば、天秤ばかり、片側の受け皿に乗せた「需要」に合わせて、秤が傾かないよう、重なりとなる「発電量」を反対側の受け皿に乗せたり下ろしたりして調整しているとイメージすればいい。

需要が供給能力を超えると大規模停電も

しかし、電力会社の持っている重りにも限りがある。特に震災後の現在は特に少ない。もし、供給力を超えた需要が発生した場合は、天秤ばかりの片側にのせるはずの重りが不足して、はかりはバランスを失い崩れてしまう。実際には予測不能な大規模停電が起きるなどの事態を招く可能性が指摘されている。

※ 日本テクノ(株)発行の「環境市場新聞」から引用



☆☆ひとやすみ☆☆

◆ウォーム・ビズ(WARM BIZ)

環境省が「秋冬のクール・ビズ」として提唱しました。暖房による二酸化炭素排出の増加を抑えるため、室温を低め(摂氏20度)に設定することを呼びかけ、この室温でも快適に過ごすための服装として「働きやすく暖かく格好良い」ビジネススタイルとして位置づけています

冬の寒さ対策から考えるエコ活動。実践してみてもいい!!

◆快適な部屋温度

人間にとって快適温度は25度ですが、冬の暖房の設定温度は、20度が目安とされています。たいてい冬場は、朝の冷え込みに耐えるため寝起きからかなり着込んでいるので、18度でも十分暖かく感じます。

また、冬になると、「人恋しくなる」といいますが、事実、人が沢山いるだけで空気は暖かくなります。家族で住んでいる家の場合、家族が一時に部屋で過ごすだけでもまとまったエネルギーが発散されて暖かくなるし、暖房を使うのもひとつの部屋だけで済むため、省エネになると思いませんか?

◆寒さは、足元から

寒さ対策の基本といえば、しっかり着込むこと。いくらたくさん着込んでも、使用エネルギーはゼロです。寒さは足元からやってきますから、まず足元をしっかりあたためましょう。足元を暖め、血行が良くなると、全身がぽかぽかしてきます。

